

マニフェスト選挙企画

大村市長選向け 公開討論会も準備

9月24日に投開票される大村市長選に向けて、大村青年会議所のメンバーが、市長を目指す人にマニフェストの提出を求め、その公約に基づく

公開討論会の開催準備を進めている。計画しているのは、同会議所の前理事長北村貴寿さん(33)ら。様々な分野の市民とともに今月中

に「ローカル・マニフェスト型 大村市まちづくり公開討論会」実行委員会を発足させる。マニフェスト応募の方は実行委発足後に決め

るが、提出期限は8月末としている。公開討論会は9月10日、シーハットおおむらで開く。公選法上の制約から、当日は「市長選に立候補する」とは言えないが、討論内

容を投票の際の判断基準にして欲しい、という。北村さんは「明示されたマニフェストを検証してこそ、市民が政治に主体的に参加する社会になる」と話している。

8/18 読売新聞

政策を基に選択を

大村市長選 来月10日に公開討論会

9月24日投開票の大村市長選へ向け、大村青年会議所の有志らが10日午後6時から、同市のシーハットおおむらで、市長を目指す人をパネリストに「ローカル・マニフェスト型まちづくり公開討論会」を開く。事前に、各パネリストに期限、財源、数値目標、工程などを明示した公約「ローカル・マニフェスト」を提出してもらい、政策論争を繰り広げる。

勉強会を兼ねた討論会実行委員会の発足会議は、今

月24日午後7時半から、同所で。講師は市民団体「ローカル・マニフェスト推進ネットワーク」九州ブロックの神吉信之代表。呼びかけ人の一人で同会議所前理事長の北村貴寿さん(33)は「こうした討論会は県内初。開催した地域では、投票率が上がるなど市民の政治意識が高まっている。ぜひ、たくさんの人に聞いてもらいたい」と話している。

討論会、勉強会とも参加無料。詳細はホームページへ

http://blog.goo.ne.jp/im-omura/ 問い合わせは北村さん(090・89619・2549)

大 村 市

市長選び政策吟味から

来月10日 立候補予定者が討論

任期満了に伴う大村市長選（九月十七日告示、同二十四日投票）を前に、立候補予定者をパネリストに迎えた公開討論会が九月十日午後六時から、大村市のシーハットおおむら・さくらホールで開かれる。入場無料。大村青年会議所の有志がつくる実行委が主催。

すでに立候補の意向を表明している現職の松本崇氏（68）と、元県議の野口健司氏（43）が出席予定。各候補予定者が政策の数値目標や達成期限を盛り込んだ「ローカルマニフェスト」を示し、市の未来像を話し合う。

今月二十四日には、大村青年会議所や市民団体でつくる「ローカルマニフェスト推進ネットワーク九州ブロック」の神吉信之代表を講師に招いた勉強会をシーハットおおむら・コミュニティセンターで開く。

市長選では市民団体が立候補者の公募作業を進めているが、現在のところ立候補の動きはななく、松本、野口両氏の一騎打ちとなる可能性が高まっている。実行委の北村貴寿・準備室長は「立候補予定者の政策を幅広く紹介し、市民参加型の市長選を目指したい。多くの方に参加してほしい」と呼び掛ける。問い合わせは、北村さん（090）8910-2549。

大村市長選の立候補予定者

来月10日に公開討論会

任期満了に伴う大村市長選（9月17日告示、24日投票）を巡り、有権者に市長選への関心を高めてもらうと、出馬表明している候補予定者に政策を論じってもらう公開討論会が9月10日午後6時からシーハットおおむらである。入場無料。討論会は大村青年会議所の有志が主催する。事前に候補のマニフェス

トを提出してもらい、市の将来像や財政再建、新幹線建設問題などで国会が質問し、一問一答形式で進める。公平・中立を守るため、会場内での中傷や拍手は禁止する。同市長選には今のところ、現職の松本崇市長（64）と3期目と元県議の野口健司氏（43）が立候補を表明している。

【柳瀬成一郎】

8/26 長崎新聞

【大村】任期満了に伴う大村市長選(九月十七日告示、二十四日投票)で、立候補予定者が政策を論じ合う「ローカルマニフェスト型まちづくり公開討論会」が、九月十日午後六時から大村市幸町のシーハットおおむらで開かれる。入場無料。

大村市長選の立候補予定者

来月10日公開討論

ハット
シーハット
加するきつかけになればと企画した。多くの人が参加(22ほこ)

政健全化や地域活性化策など大村市の今後のまちづくりについて話し合ってもらおう。

り、公開討論会にも松本、野口両氏が出席する予定。

「ローカル・マニフェスト推進

「立候補予定者の政策を広く市民に知ってもらい、市民が主体的に政治に参加

進ネットワーク九州ブロック」の神吉信之代表が務める。

と話している。討論会についてはホームページ

大村青年会議所の有志でつくる実行委が主催。立候補予定者に、数値目標や財源確保策、達成期限を明示した「ローカルマニフェスト」を事前に提出

同市長選では現職の松本崇氏(六巴)と、元県議の野口健司氏(四ミ)がそれぞれ立候補を表明。

シ (http://blog.goo.ne.jp/inn-omura/) で紹介。問い合わせは北村委員長(電0900・89919・25549)。

9/9 朝日新聞

氏2の予定候補立 マニフェスト討論

あす向け選市長村大

が中心になって作った実行委員会の主催。立候補を表明している現職の松本崇氏と元県議で新顔の野口健司氏から提出を受けたマニフェストをもと

に討論する。コーディネーターは、ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州の神吉信之氏が務める。

されていないなど、十分なマニフェストとは言えないが、討論会の中できちんと「ただす」として入場無料だが、カンパを募る。

大村市長選の立候補予定者が討論する「ローカルマニフェスト型」大村市まちづくり公開討論会が10日午後6時から、シーハットおおむら・さくらホールで開かれる。青年会議所のメンバー

神吉氏は「財源が明示

9/10 読売新聞

予定の2氏きょう討論会 大村市長選

大村市長選立候補予定者による10日の「ローカル・マニフェスト型まちづくり公開討論会」に、すでに立候補の意思を明らかにしている現職・松本崇氏(64)と元県議・野口健司氏(43)が出席する。同市のシーハットおおむら・さくらホールで、午後6時開会。

青年会議所有志らでつくる実行委員会の主催。ローカル・マニフェストは、財源、数値目標、工程などを示した公約で、パネリストとなる両氏が提出した政策書面に基づいて討論を繰り広げる。進行役は、市民団体「ローカル・マニフェスト推進ネットワーク」九州

ブロックの神吉信之代表。実行委の同会議所前理事長・北村貴寿さん(33)は「マニフェストというには不十分な点もあるが、政策をじっくり聞き、投票の判断材料にしてほしい」と話している。入場無料だが力

9/12 毎日新聞

者定予 展開 論持

大村市長選
公開討論会

任期満了に伴う大村市長選(17日告示、24日投票)で、出馬表明している現職の松本崇氏(64)と新人で元県議の野口健司氏(43)による公開討論

会が10日夜、同市であった。参加した約280人の市民を前に、2氏が期限、財源、数値目標などを具体的に示すローカル・マニフェスト型で討論を展開した。

氏は「民間に委ねるべき。コンビニでの舟券発売など自由な発想が期待できる」と述べた。また、新幹線長崎ルートについて、松本氏は「積極的に推進したい。駅周辺をビジネス街にした」と述べた。野口氏は「結論は建設促進だが、採算性などを論議し、市民の意見を組み入れたい」と語った。【柳瀬成一郎】

大村競艇場の再建手法

を巡り、松本氏は昨年度

黒字化した点を強調し

「大型レースの誘致に成

功し、これまで通り公営

で進める」と主張。野口

立候補予定の2氏 マニフェスト討論

大村市長選向け、あす

大村市長選の立候補予定者が討論する「ローカルマニフェスト型 大村市まちづくり公開討論会」が10日午後6時から、シーハットおおむら・さくらホールで開かれる。青年会議所のメンバー

が中心になって作った実行委員会の主催。立候補を表明している現職の松本崇氏と元県議で新顔の野口健司氏から提出を受けたマニフェストをもと

に討論する。コーディネーターは、ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州の神吉信之氏が務める。神吉氏は「財源が明示

されていないなど、十分なマニフェストとは言えないが、討論会の中できちんと「ただす」としている。入場無料だが、カンパを募る。

財政・合併・競艇で討論

大村市長選
出馬予定2氏
マニフェスト基に

大村市長選に立候補を予定する2氏をパネリストとする「ローカルマニフェスト型 大村市まちづくり公開討論会」が10日、大村市のシーハットおおむらで開かれた。ともに立候補を予定している現職の松本崇氏と元県議の野口健司氏が出席。事前に提出したマニフェストをもとに討論した。

財政再建や市町村合併、地場産業の育成、新幹線の是非、競艇事業のあり方など、多岐にわたる課題が取り上げられた。実行委員会の北村貴寿委員長は「アンケートには、支持する候補が変わったという回答もあった。これからは市長の通信簿をしっかりとつけた」と語った。

松本氏は「政策だけでなく性格の違いもはっきりした。勉強になった」、野口氏は「言いたいことが言えた」と感想を述べた。

熱白氏2し提示策政

論討トフェスマニえ控選市長村大



松本（左）と野口氏
考えを述べ合う

「ほう」と、大村青年会議所有志でつくる実行委員会が企画。両氏は期限や財源などを示した公約（ローカル・マニフェスト）を事前に提出、この日は進行役の「ローカル・マニフェスト推進ネットワーク」九州ブロック代表・神吉信之氏の質問に考えを述べ合った。

大村市長選（17日告示、24日投開票）を控え、県内初の「ローカル・マニフェスト型」まちづくり公開討論会が10日、同市のシーハットにおもむりて開かれた。立候補の意向を表明している現職・松本崇氏（64）と元県議・野口健司氏（43）が白熱した議論を展開、財政再建や競艇事業の進め方などで違いが浮き彫りになった。

「政策本位で政治家を選

ぶ」と、大村青年会議所有志でつくる実行委員会が企画。両氏は期限や財源などを示した公約（ローカル・マニフェスト）を事前に提出、この日は進行役の「ローカル・マニフェスト推進ネットワーク」九州ブロック代表・神吉信之氏の質問に考えを述べ合った。最大の争点は、赤字再建団体転落も懸念された財政の再建。松本氏は第4次行政改革による48億8000万円の歳出削減を強調。野口氏は「市役所大改革」を掲げ、市長報酬20%、職員給与総額15%以上の削減など合理化策を披露した。競艇事業では松本氏が市直営の継続、野口氏が将来の民営化をそれぞれ主張した。約280人が参加、会場でのアンケートでは「政策が聞けて良かった」との声のほか、「支持する政治家が変わった」との回答も。神吉氏は「人の政策を知り、選択してもらう機会を持てたのは大きい」と話した。

競艇事業

財政再建

9/12 長崎新聞

立候補予定者が主張ぶつけ合う

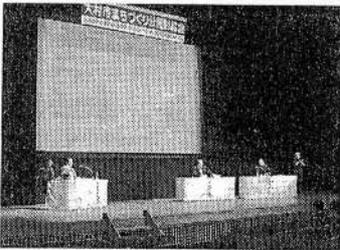
大村市長選で討論会

【大村】任期満了に伴う大村市長選（十七日告示、二十四日投開票）を前に、立候補予定者が政策を論

大村青年会議所の有志でつくる実行委が主催。立候補予定者が数値目標や財源、達成期限を明示した「ローカル・マニフェスト」を提示し、財政健全化や地域活性化策など同市の将来像を描いてもらう狙い。

市民団体「ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州ブロック」の神吉信之代表がコーディネーターを務め、松本、野口両氏が財政健全化の方策や市の長期構想につ

じ合う「ローカル・マニフェスト型まちづくり公開討論会」が九日、大村市幸町のシーハットにおもむりてあり、現職の松本崇氏（64）と元県議の野口健司氏（43）が主張をぶつけ合った。写真。



いて持論を展開。市民約二百八十人が参加した。財政問題で松本氏が「事務事業の選択と集中で、五年間で四十八億円」の行革を断行する。財政再建団体には「しない」と主張したのに対し、野口氏は「大村市はまだ真の行革はできていない。自己改革し、自立する市役所像を目指す」となどと反論した。

大村競艇の再建に関して松本氏は「黒字転換を果たし、今後も市が主体的に運営する。場外舟券売り場を充実させ、総合レジャー施設にしたい」と述べた。野口氏は「業務の民間委託を実現したい。コスト面も経営的な発想も民間にやらした方がうまくいく」と指摘した。

政策を掲げ白熱した議論を交わした大村市長選の立候補予定者

大村市長選 立候補予定者討論会



行財政改革訴え論戦

松本氏、野口氏が経費削減策 競艇存続で意見対立

十七日告示、二十四日投票される大村市長選の立候補予定者が政策の数値目標や達成期限を盛り込んだ「ローカルマネーフレスト」に基づく公開討論会が十日夜、同市幸町のシーハットおおむらであり、候補予定者の訴えに市民約二百八十人が耳を傾けた。

大村青年会議所の有志らによる実行委員会が主催。立候補の意向を表明している現職で四選を目指す松本崇氏(44)と、新人で元県議の野口健司氏(45)も無所属(西)として参加し、主催者側に事前に提出したローカルマネーフレストを基にそれぞれの政策を訴えた。

討論会では行財政改革が最大の焦点となり、松本氏は「職員数の削減や給与引き下げ、公的施設給与の削減を柱とした改革を実施し、五年間で約四十八億円の歳出削減効果を出す」と明言。野口氏は「市長退職金のカットや市長公用車の廃止のほか、職員給与総額の15%カットを断行する」と述べた。

また、営業不振が続く大村競艇事業について、両氏の主張が真っ向から対立。松本氏が「昨年度は七年ぶりに約一億七千万円の黒字化に成功しており、今後も市の直営を維持していく」と四年間の実績を強調した。これに対し、野口氏は「黒字は税金の還付金など営業外収益の影響によるもので、営業収支では約八百万円の損失を出している」と反論。「(競艇事業の民間委託に関する)法整備が整い次第、すぐに民間委託に踏み込むべきだ」と述べた。このほか、両氏は福祉政策や中長期的なまちづくり施策など幅広い分野で意見を交わした。